

アメリカ社会の法動態

——多元社会アメリカと当事者対抗的リーガリズム

著者:ロバート・A・ケイガン

翻訳:北村喜宣/尾崎一郎/青木一益/四宮 啓/渡辺千原/村山真維

ISBN978-4-903425-14-6

定価[本体8,200円+税] A5判 上製カバー 416ページ

アメリカにおける「生ける法」の実像のすべて

[内容目次]

- 第I部 当事者対抗的リーガリズム —— その輪郭、帰結と原因
- 第1章 当事者対抗的リーガリズムの概念
- 第2章 当事者対抗的リーガリズムの2つの顔
- 第3章 当事者対抗的リーガリズムの政治的構造
- 第II部 刑事司法
- 第4章 当事者対抗的リーガリズムとアメリカの刑事司法
- 第5章 刑事事件の判断
- 第III部 民事司法
- 第6章 当事者対抗的リーガリズムと民事司法
- 第7章 不法行為法システム
- 第IV部 公法 —— 社会正義と法規制
- 第8章 当事者対抗的リーガリズムと福祉国家
- 第9章 当事者対抗的リーガリズムと規制スタイル
- 第10章 経済発展、環境保護、そして、当事者対抗的リーガリズム
- 終章 合衆国は当事者対抗的リーガリズムを飼い馴らすことができるか？

著者:ロバート・A・ケイガン

カリフォルニア大学バークレイ校ロー・スクール教授

翻訳:北村喜宣 上智大学法学部・法科大学院教授

尾崎一郎 北海道大学大学院法学研究科教授

青木一益 富山大学経済学部助教授

四宮 啓 早稲田大学法科大学院教授・弁護士

渡辺千原 立命館大学法学部教授

村山真維 明治大学法学部教授



ロバート・A・ケイガン
カリフォルニア大学バークレイ校
ロー・スクール教授

アメリカにおける「生ける法」の実像

「当事者対抗的リーガリズム (adversarial legalism)」をキーワードとして、アメリカの法制度と統治過程を、数多くの長所と問題点をあわせて記述することによって、本書は、日本法の将来、とりわけ、制度設計にあたっての法曹の役割や司法制度のあり方を考えるうえで大きな示唆を与えてくれる。

発行 慈学社出版 発売 大学図書 定価[本体8200円+税]